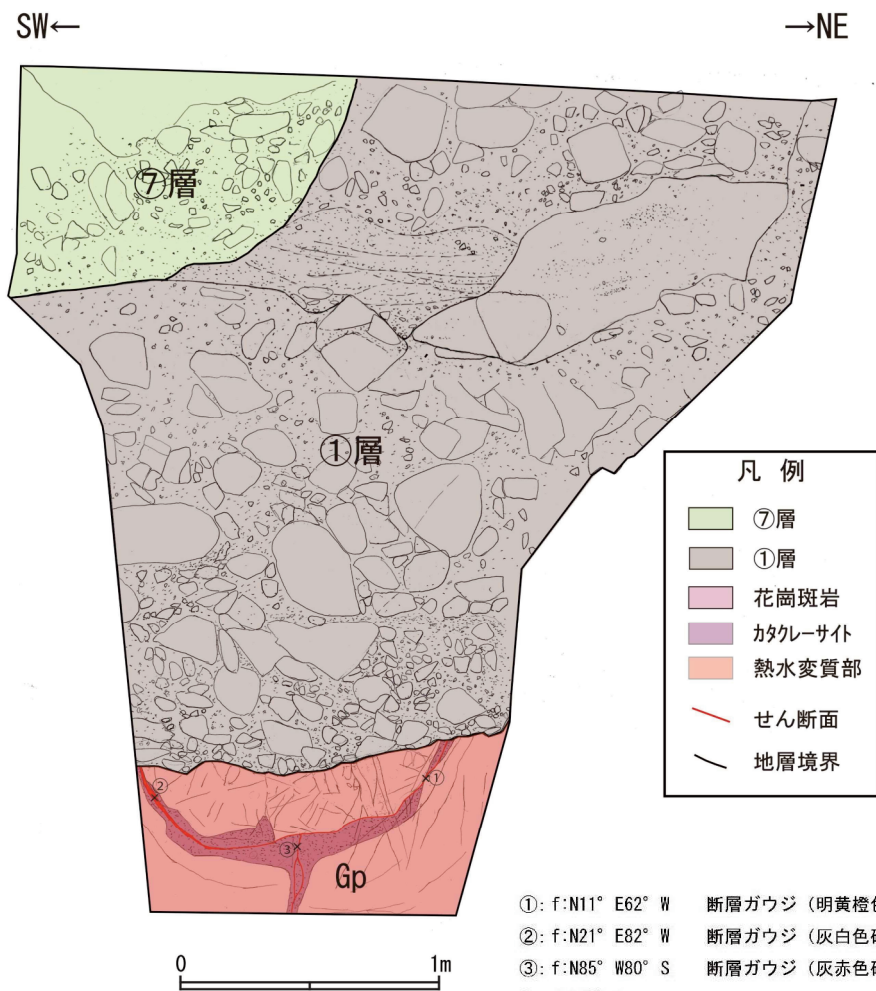
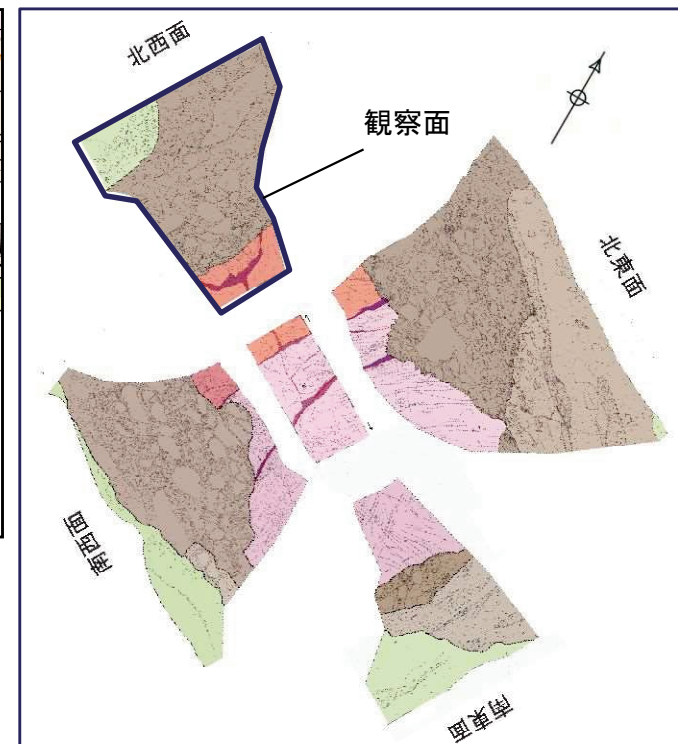


#### 4. D-1 破碎帯ピット調査結果（北西面スケッチ）



調査位置図



ピット内調査位置図

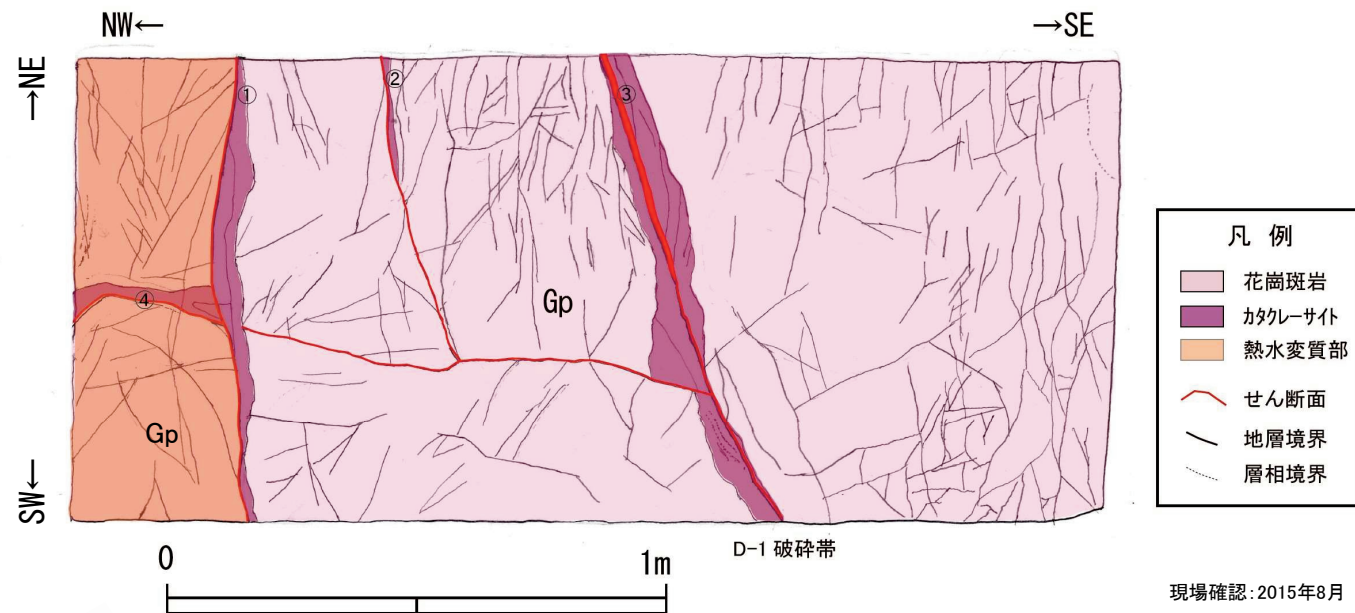
現場確認：2015年8月

⑦層：礫混じり砂質シルト。褐(7.5YR4/3)。シルトを主体とし、全体に細砂～径10cmの礫が混じる。全体に風化が進み土壌化を受ける。

①層：砂礫。にぶい赤褐～灰白色(5YR4/3～2.5Y7/1)。礫は径50cm以下の亜角礫を主体とする。礫率30～60%。淘汰は悪い。基質は粗～中粒砂で固く締まっている。

Gp：花崗斑岩。にぶい赤褐～灰白色(5YR4/3～2.5Y7/1)。全体に風化を受け、一部土砂状を呈す。また、断層周辺部では、カタレーサイトが分布し、礫・シルト質状を呈す。

#### 4. D-1破碎帯ピット調査結果（底盤スケッチ）

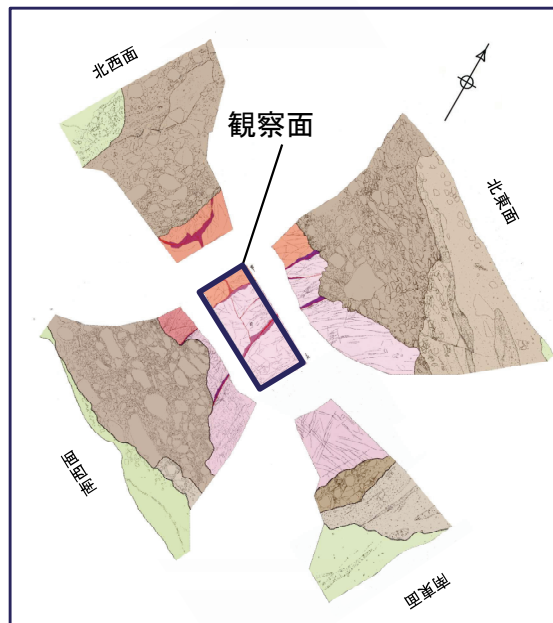


- ①: f: N11° E, 86° E ~ 81° W 断層ガウジ (灰白色砂混じり粘土 幅 1 ~ 5mm)
- ②: f: N7° E 77° E 断層ガウジ (灰白色砂混じり粘土 幅 1 ~ 5mm)
- ③: f: N1° E 75° E 断層ガウジ (灰白色, 一部褐色砂混じり粘土 幅 5 ~ 15mm)
- ④: f: N41° W 66° N ~ 81° N 断層ガウジ (灰白色 幅 2 ~ 5mm)
- f: せん断面

Gp: 花崗斑岩。にぶい赤褐～灰白色(5YR4/3~2.5Y7/1)。全体に風化を受け、一部土砂状を呈す。また、断層周辺部では、カタクレサイトが分布し、礫・シルト質状を呈す。



調査位置図



ピット内調査位置図